

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5 年 4 月 14 日

事業所名 社会福祉法人 竹俣会 ひまわり教室

保護者等数（児童数） 13 回収数 13 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84.6%	15.4%	0.0%	・室内は広くないが、屋外での活動も多く、十分だと思う。 ・もう少し歩くスペースがあるといい。	・令和3年度に改修工事をしたことで、以前よりも広くスペースを確保することが出来たと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	・経験豊富なアドバイスや提案をいただきありがたい。 ・たくさんの先生方が個々の特性に合わせて対応している。 ・利用者の特性を理解し、十分な対応をしていると思う。	・保育教諭、小学校教諭、児童指導員が教育にあたっています。宿題などの学習の時には個別に対応しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100.0%	0.0%	0.0%	・建物の構造上、安全なバリアフリー化は難しいと思うが、必要な対策はしているように思う。	・玄関にはスロープ、階段には手すりを設けています。 ・ブレイルームはバリアフリー化し子ども達が過ごしやすいようにしています。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100.0%	0.0%	0.0%	・子どもの様子と保護者の気持ちを考えて、作成してもらっている。 ・定期的に面談を行い、子どもの特性や家族の思いに寄り添った支援計画書を作成している。	・年度始めにアンケートを配布し、保護者やお子さんのニーズを理解した上で個別支援計画書を作成しています。また、個人懇談会の中で、モニタリングしながら内容を確認しています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100.0%	0.0%	0.0%	・製作や遊び等、いつも様々な活動内容をして考えてもらっている。 ・様々な活動ができる様工夫して、多くの経験ができることがありがたい。 ・面白い作品を作ったり、教室以外に出かけたり、楽しい活動がたくさんできている。	・季節に合わせた活動や、施設外での活動も取り入れて固定化しないよう活動計画を立てています。 ・繰り返し練習して身につける事や社会でのルールを知る体験が出来るように毎年内容を検討し活動を工夫しています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	30.8%	53.8%	15.4%	・コロナ禍もあり、今はなくてもいいと思う。 ・コロナが収束し、交流の機会が増えて欲しい。 ・学校で交流会の機会があるので、どちらでもよい。	・毎年、くりのみ児童館との交流を行い、手話ダンスを楽しんでいます。今年は、ハートフル文化祭で手話ダンスの映像を披露しました。
保護者	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	・支援の内容については、面談時に話があり、書面でも確認できている。 ・書面と口頭でしっかり説明してもらった。	・重要事項説明書を取り交わす時に読み上げて説明をさせて頂いています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92.3%	7.7%	0.0%	・「こんなことができるようになった」など、迎える時にいろんな話が聞けてよく見てもらっていると思う。 ・毎回、迎え時などにその日の様子を含め、子どもの様子や変化など、丁寧に話をしてくれるのでありがたい。 ・送迎時に口頭で様子を教えてもらい、連絡帳でも情報を共有できている。	・バスの送迎時やお迎えの時に、活動の内容などをお伝えしながら、保護者の方との情報共有をしています。 ・連絡帳を通じて、家庭での様子やひまわり教室での様子を確認し合い、そこで課題が見えた場合は保護者と話し合い、共通理解できるようにしています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%	・面談時以外でも相談しやすく一緒に考えて助言をもらっている。 ・定期的な面談で計画や日頃の様子について伝え合う機会が設けられている。	・保護者の方からご相談があった時には時間を設けてお話するようにしています。 ・個人懇談の中でお子さんの状況を話し合い、目標に沿った支援が出来ているかを確認し、課題が見えた時には今後の支援方法を考え、共通理解を得ています。

への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38.5%	46.1%	15.4%	・コロナ禍につき、企画自体が困難だと思う。 ・コロナが世間的にも落ち着くまでは難しいと思う。今後年に1回でいいので、年度初めに顔合わせの場はあっていいと思う。	・今年は、保護者会活動として大集会を実施しました。グループに別れ内容を縮小して、子ども達が作った作品や活動写真、映像で内容を見ていただきました。 ・来年度は、保護者の要望もあり、おしゃべり会を復活したいと考えています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	77.0%	23.0%	0.0%	・これまでに経験したことがなく、分からない。 ・苦情がなく、分からない。	・重要事項説明書に苦情についての対応を載せています。何かあった場合や電話での相談などについては、迅速に対応しています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.0%	0.0%	0.0%	・送迎時など、いつも丁寧に話をする時間があるし、連絡帳でも情報伝達ができている。 ・こちらの思いを十分に伝えた上で考えてくれていると思う。	・送迎時にその日の様子を伝えたり、家庭でのお子さんの様子も確認しています。 ・連絡帳等で情報を迅速に伝達しています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%	0.0%	0.0%	・HPで活動内容を発信してもらい楽しみであるし実際の姿を確認できるので嬉しい。 ・お便りや連絡帳、メールで定期的に連絡をしてくれるので助かる。	・毎月のおたよりで活動予定やその様子をお伝えしています。 ・HPにて活動の様子や自己評価の結果を公開しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%	・問題ないと思う。	・HPに掲載することを踏まえてお便りを出し、文書で承諾して頂いています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	77.0%	23.0%	0.0%	・お便りやメール等で知らせをもらっている。	・各種マニュアルを策定しています。避難場所を知らせたり、引渡し訓練時のカードを作成し緊急時の対応に備えています。 ・適宜お便りにてお知らせしたり、マニュアルを玄関に掲示しています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	92.3%	0.0%	7.7%	・家でも避難訓練の成果を垣間見ることがあり、ありがたい。	・利用者全員が避難訓練を出来る様に、年5回各曜日に計画し実施しました。また、消防署の方にご指導いただいています。その結果も玄関に写真を掲載したり、ホームページやお便りで保護者の方に実施状況を伝えています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100.0%	0.0%	0.0%	・毎回、子どもが「楽しかった」と言って帰ってきます。 ・子どもにも親にとっても安心して過ごせる癒しの場です。 ・利用日を心待ちにしている。 ・小さいときから第2の家として楽しみにしている。	・感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。
	18	事業所の支援に満足しているか	100.0%	0.0%	0.0%	・支援活動内容、おやつなど、とても手厚いのでありがたい。 ・たくさんの成長をサポートしてもらい、とても感謝している。 ・きちんといろいろな活動内容を考えてくださりありがたい。 ・わが子にとって、一番頑張れる場所のように成長をサポートしてくださりととても感謝しています。	・ご理解、ご協力頂きありがとうございます。これからも保護者の皆様と共に大切なお子さまをお預かりしながら、一生懸命に療育・教育の支援を行なっていきたいと思います。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 4 月 14 日

事業所名 社会福祉法人 竹伸会 ひまわり教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	0.0%	隣接しているこども園の園庭や、近くの公園での戸外学習を取り入れ施設外の活動も行なっています。	1日の利用人数を6名までとして、活動スペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%	0.0%	適切に療育・教育が出来る様に職員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	83.3%	16.7%	0.0%	建物の一部がバリアフリーになっており、出来るだけ車いすなど不便にならないようにしています。	改修工事を行ったので、活動しやすくなりました。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	83.3%	16.7%	0.0%	全職員で話し合う場を設け、年に2回個別支援計画書を立てながら目標を定めて療育・教育しています。	課題が見つかったときには、全職員で話し合い改善できるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	年度末に自己評価アンケートを実施し、保護者の方の意向を把握しできるところは改善するようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%	0.0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33.3%	16.7%	50.0%		ガイドラインを活用し、定期的な評価を行いながら今後検討していきたいと思っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	0.0%	特別支援、障がい児研修、虐待研修を受講し、後日全職員に報告し資質向上に努めています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	年度始めにアンケートを取り、子どもと保護者のニーズを確認しそれを踏まえて個別支援計画書を作成しています。	
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%	0.0%	0.0%	ふくいつ子ファイルの基礎調査票を使いアセスメントして一人ひとりの状況を把握し、支援しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	50.0%	50.0%	0.0%	毎日の活動や長期休暇での活動は、職員同士が話し合い立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	50.0%	50.0%	0.0%	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、戸外の活動が出来なかったのが現状ですが、その分室内の活動を取り入れました。	・買い物学習・社会学習・個別学習・音楽学習・戸外学習・ムーブメント学習などを日々利用者が重ならないように決めて子どもたちへの支援を考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83.3%	16.7%	0.0%	長期休暇では、テーマを決めて作品を作ったり、じっくりと取り組めるような課題に挑戦しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	宿題や平先を使った活動などは、一人ひとりに合わせたり、学年で合わせたりしています。集団で行う活動ではムーブメントを取り入れた活動も行なっています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	66.7%	33.3%	0.0%	朝礼時に毎日の活動内容を職員同士で確認し、役割の担当などを話し合っています。	主、サブ、サブフリーと役割分担しながら支援を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	33.3%	66.7%	0.0%	活動の終わりには、週案に反省を記入し、全体と個別の支援について振り返り、今後の活動に繋げています。	連絡が漏れないように気づいたことをメモし、全職員が確認できるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83.3%	16.7%	0.0%	複写式の連絡帳を使用し、個人記録を取っています。また、週案にも同様に記入しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	83.3%	16.7%	0.0%	年に2回、個別支援計画書の見直しを行ない、サービス利用計画書を確認しながら相談支援員の方と支援方法について話し合っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	実際に、基本活動を組み合わせて支援を行なっています。	ガイドラインの総則を職員で確認しながら支援内容を決めて個別支援計画書にも記入し支援を行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	サービス担当者会議が必要になった場合、担当の職員と施設長の2人で出席し支援方法を検討しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	83.3%	16.7%	0.0%	送迎時、学校の様子などをお聞きしたり、ひまわり教室での様子を伝えたり、また連絡帳を互いに確認しながら情報交換をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	33.3%	16.7%	50.0%	発作がある子や緊急の場合は、事前に対応方法を保護者に確認し緊急手段「対応メモ」に準じて判断、対応できるようにしています。救急カードがある場合は、出かける際には必ず所持する様にしています。	戸外に出かける時も「対応方法メモ」を持参し、すぐに見て判断できるようにしています。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83.3%	0.0%	16.7%	利用者の情報は保護者との面談で把握しながら情報共有しています。	ひまわり教室利用以外の子どもへの情報は、就学前に利用していたこども園に連絡し情報を共有しながら相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50.0%	33.3%	16.7%	電話や会議を行い、相談支援専門員の方とひまわり教室での様子などを話しています。	移行支援会議などがあった場合、情報を共有し今後の支援に繋げています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83.3%	16.7%	0.0%	発達障がい者支援センターの研修には出来るだけ参加し、職員の資質向上に繋げています。	巡回教育相談を利用しアドバイスをもらったり、相談支援専門員の方にお子さんを観察して頂き助言をもらったりするなどの連携しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	83.3%	16.7%	0.0%	毎年くりのみ児童館の子どもと交流する機会を設け手話ダンスを楽しんでいます。またハートフル文化祭にも参加しています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	16.7%	50.0%	33.3%		今年度は参加できませんでしたが、今後参加したいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%	送迎時活動の様子を伝えたり、連絡帳でやり取りしたりしながら、保護者と情報を共有するようにしています。	発達について問題が出てきたときには、保護者と相談を持ち、課題について話合っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33.3%	66.7%	0.0%	保護者支援として個人懇談で話を聞きながら子どもをほめるコツを伝えたり、成長を共に喜んだりできるようにしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83.3%	16.7%	0.0%	重要事項説明書について、保護者一人ひとりに話し、署名捺印して頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	相談があった時には連絡帳や個人懇談の時に対応する様にしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	16.7%	50.0%	33.3%	今年もコロナウイルス感染拡大防止の為、開催は出来ませんでした。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	0.0%	保護者の方から相談、苦情を受けた場合、話し合い迅速に対応する様に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83.3%	0.0%	16.7%	毎月おたよりを発行したり、玄関に掲示したりHPに掲載して活動の様子を伝えています。連絡事項がある場合には、メールでその都度お知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%	保護者に書面で承諾を頂いてから掲載しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	0.0%	送迎時の時だけでなく、連絡帳でも日頃の様子を伝え、意思疎通、情報交換を行うようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	16.7%	0.0%	83.3%	現在は行なっていません。	今後検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	66.7%	33.3%	0.0%	全てのマニュアルを策定し職員に周知徹底している。	保護者の方にも確認できる様、簡略化したものを玄関に置くように検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	年6回避難訓練を行なっています。そのうち1回は消防署の方が来られ、ご指導を頂いています。	避難訓練を行なった後は、おたよりやHP、玄関で掲載し保護者の方にお知らせしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%	虐待防止研修に職員が参加し、会議で情報伝達しながら学び合っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100.0%	0.0%	0.0%	一人ひとりの子どもに向き合い、必要があった場合には会議を開き、検討しています。その上で保護者の方と個人懇談を行いどのように支援していくかを決定し、個人記録、個別支援計画書に記入し、保護者の署名捺印を頂いて記録に残しています。	やむを得ず身体拘束を行なう必要がある時には、保護者の方と事前に相談し、共通認識を持ち行うようにしています。また書面でも確認していただき、保護者に署名捺印して行うようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	16.7%	16.7%	66.6%	食物アレルギーがあるお子さん、熱性痙攣のあるお子さんに対して、保護者の方に対応を確認しています。また、主治医の意見書もいただいています。	医師の指示書を提出していただき、その上で保護者と相談会を開き、内容と方法を確認し合います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	0.0%	ヒヤリハットがあった場合にすぐに書き込めるように室内のボードに掲載しています。また、次回同じような事が起こらない様に職員同士で話し合い、改善策を実施しています。	事業所のどの場所に危険が生じるか把握し、怪我を未然に防ぐように改善方法を話し合っています。